

初出式

・10年継続会員記念植樹式レポ

山本 隆造

1月11日暦の関係でやや遅くなったが、初出式と10年継続会員記念植樹式が行われた。久々に行動制限の無い正月と天候に恵まれ80人ほどの会員が参加して賑やかな1日であった。

初出式と餅つき

千載会長の挨拶。今年は正月早々から能登の地震災害、航空機事故と大きな災害や事故があった。自然災害は避けられない部分もあるが、ミスによる事故は防ぎたい。今年も1年「明るく楽しく無理をせず」で乗り切りたい。との言葉があった。



昨年に引き続き餅つき、七草粥の準備。3基の釜で湯沸かし、もち米のセイロ蒸し、七草粥と手際よく進められる。

10時半頃に餅つきが始まった。千載会長に続き辰年の年男、年女や力自慢が杵を振るった。



昼の時間となり出来上がったきな粉餅とおろし大根餅、七草粥が全員に振る舞われた。熱々の七草粥と1斗の餅で、全員が満腹感を味わった。さらに追加で出来上がった黒米餅と残った白餅はお持ち帰りのお土産となる。



10年継続会員記念植樹式

昼食後、西側里山入口脇で10年継続会員記念植樹式が行われた。今年の対象者は13名。足立勝洋、奥谷佳由里、奥谷久那子、小山喜与男、高城光一、宝田史子、田矢恵造、辻本愛子、辻本正則、辻本正子、中井弘、中川徹、福田美伸の各氏で、内9名が参加した。

千載会長から10年間の活動の労いと今後の活動への期待の言葉があり、10年継続会員の手によりヤマボウシの植樹と銘板の取り付けが行われた。



10年継続会員を代表して中井さんから、今後も部分皆伐と植樹による里山の更新など里山保全に努めたいとの挨拶があった。

ヤマボウシが大きく育ち、サイクリングロード沿いで白い花をたくさん咲かせてくれることを見守りたい。